

# とよなか市民環境会議



Toyonaka Citizens Environmental Conference

1998 (平成10) 年 秋号 (通巻第5号)

特集 平成10年度総会

## 豊中アジェンダ策定へむけて、取り組み様々

とよなか市民環境会議は、今年で早や3年目を迎えました。

この間、平成8年度はワーキンググループを中心に環境展の開催、行政の環境基本計画策定作業への参加、望ましい環境像(市民案)についてのワークショップなどをおこなってきました。

平成9年度は、地球環境を守る地域行動計画である「豊中アジェンダ21」の策定にむけて、①豊中環境塾を開催したり、②生活、産業、交通、自然の4つの策定作業部会を発足させ、毎月ワークショップを開催し、③環境展や「地球環境を守る市民・企業・行政の新たな挑戦」と題したシンポジウムを開催するなど、さまざまな取り組みを精力的に進めてきました。

さらに、昨年12月に開かれた地球温暖化防止京都会議(COP3)の会場となった国際会館へ豊中市内18中学校の中学生のメッセージを届けました。

市民環境会議の発足後、国内外の動向も大きく様変わりしました。

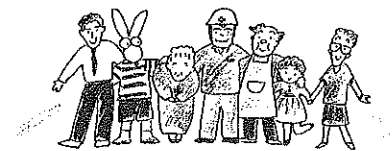
21世紀初頭の地球温暖化防止に向けての国際的な取り決めが交わされ、ダイオキシンをはじめとする環境ホルモンの将来世代への影響も明らかになってきました。

こうしたなか、豊中アジェンダ21の最終策定年度である今年度は、昨年度の成果をふまえ、より実効性のある計画とするため、4つの策定作業部会において様々なキャンペーン活動や条文づくりが進められています。

今回は、こうした豊中アジェンダ策定にむけての具体的な取り組みを今年度の総会での報告を通して紹介していきます。

1. 平成10年度とよなか市民環境会議 総会  
平成10年度「とよなか市民環境会議」の総会が、6月12日(金)豊中市民会館で開催されました。総勢257名が出席し、平成10年度の活動方針が決定されました。

その後、「豊中アジェンダ21」策定に向けてのトークイベントが開催され、各部会の取り組み報告や提案などが発表されました。コーディネーターの盛岡通さんや、作業部会の3人(植村久子さんは欠席)のアドバイザーによるコメントなど盛りだくさんの内容となりました。



### 本号のハイライト

- P.1 平成10年度とよなか市民環境会議総会
- P.2 豊中アジェンダ・4つの部会の動き
- P.4 豊中アジェンダ・私の提案

平成10年度とよなか市民環境会議総会 プログラム	
13:30~14:00	《第1部》 総会
14:05~14:30	《第2部》 豊中アジェンダ21 各部会の取り組み報告
14:30~15:55	私の提案

# 今年度の活動方針 が決まりました！

## 基本方針

(1) 市民・事業者・行政それぞれがその立場における地球環境問題についての主体的責任を自覚し、ただちに自主的に行動することを通じて、相互の理解を深め、信頼と連帯の関係をつくります。

(2) ローカルアジェンダにもとづく市民・事業者・行政の共同行動を企画し推進するとともに、それぞれの取り組みの相互交流、相互支援を推進します。

## 活動計画

1. とよなか市民環境会議総会及び記念イベントを国際環境月間（6月）におこないます。
2. 「豊中アジェンダ21」の策定作業をワーキンググループと生活・産業・交通・自然の4部会で相互に意見交換しながら進めます。
3. 4つの部会ごとに具体的な行動プランをつくり、7・8月を中心に試行的実践活動をおこないます。
4. 環境展'98を「いのちと環境」というテーマで開催します。
5. 環境展までに豊中アジェンダ21の原案を策定し、役員会にはかった上で環境展で公表し、市民・事業者の意見を求めます。
6. 事業活動や日常生活の身近なところから、資源・エネルギーの節約と効率的な利用、廃棄物の減量に努力します。

### ◎環境家計簿とは…

私たちは、快適で便利な生活を望むあまり、色々なエネルギーの無駄づかいをしていないでしょうか？こうした無駄が二酸化炭素を増大させ、地球の温暖化の大きな原因になっています。環境家計簿は、私たち市民が家族みんなで協力してエネルギーの節約を目標とし、同時に家計費の節約もでき、環境にやさしいライフスタイルにかえていくよう工夫してつくったものです。



# 豊中アジェンダ・4つの部会の動き

## 生活部会（エコライフ部会）

生活部会では、どうすれば環境に配慮した生活スタイルをつくっていきけるかの勉強会を続けてきました。会議を重ね、暮らしのあり方を見直す行動として「誰にでもつけられる環境家計簿」をつくりました。シンプルに、親しみやすいように、イラストをたくさん挿入しました。環境に関する情報を提供しながら、家計の節約もアピールしています。

つぎに、「レジ袋の有料化・買い物袋持参運動」です。販売店さんとの、意見交換をしたり論議を重ねています。いろいろ問題点も多いなか、12月の環境展を目標に、何らかの行動を起こしていきたいと思っています。

（生活部会部会長 宮田 健）

## ☆「とよなか市民環境会議」オリジナル版 《環境家計簿》できました！

市内はもとより、他市からの問い合わせも多く、新聞各紙で紹介されたり、静かに広がっています。いつからでも始められるのが特色です。

わが家の月間環境家計簿

家族数 ( ) 人

項目	単価	7月		8月	
		消費量	消費費	消費量	消費費
電	0.12	*	*	*	*
都市ガス	0.04	*	*	*	*
灯油	0.08	*	*	*	*
ガソリン	0.04	*	*	*	*
水道	0.16	*	*	*	*
燃やすごみ	0.24	*	*	*	*
資源物(紙類・プラスチック類)	0.02	*	*	*	*
資源物(資源物)	0.17	*	*	*	*
合計CO <sub>2</sub> 排出量		kg		kg	

平均的な家庭に比べての使用量は 多い 少ない 多い 少ない

環境のために生活を豊かにしましょう。  
ごみ減量にご協力ください。  
ごみ・資源物の分別をお願いします。

7月 8月  
ペットボトル 本 本  
ガラスびん 本 本

ガラスびん  
リサイクルマーク  
リサイクルマークは必ず貼ってください。  
リサイクルマークは必ず貼ってください。

真の省エネ生活  
1日100kWhの削減目標は、  
一般家庭の1/10程度です。  
省エネ機器の導入、省エネ  
の取り組み、省エネの  
意識の向上などにより、  
10kWh、44%の削減  
目標は、必ず達成でき  
ます。省エネ機器の  
導入、省エネの意識の  
向上などにより、  
10kWh、44%の削減  
目標は、必ず達成でき  
ます。

省エネ機器の導入  
省エネ機器の導入は、  
省エネの取り組みの  
重要なポイントです。  
省エネ機器の導入は、  
省エネの取り組みの  
重要なポイントです。

省エネ機器の導入  
省エネ機器の導入は、  
省エネの取り組みの  
重要なポイントです。  
省エネ機器の導入は、  
省エネの取り組みの  
重要なポイントです。

1998 7月 8月  
日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日  
5 6 7 8 9 10 11 2 3 4 5 6 7 8  
12 13 14 15 16 17 18 9 10 11 12 13 14 15  
16 17 18 19 20 21 22 16 17 18 19 20 21 22  
23 24 25 26 27 28 29 23/30 24/31 25 26 27 28 29

いつでも、どこでもマイレック！

ストップ! アイリング!

## 産業部会（エコインダストリー部会）

豊中市の企業に在籍する人々や各界のオブザーバーが集まり、アドバイザーの佐川先生のご指導で活動を始めて1年が経過しました。

「豊中アジェンダ21」の目的、日本の企業における環境管理の動向、グリーン購入ネットワークの活動内容、豊中市の一般ゴミの現状等について、講師の先生のお話を聞いて勉強するうちに、だんだん環境問題への関心が高まり、「企業人としての環境目標」の策定作業で活動は盛り上がっています。

省エネ、廃棄物、省資源等の11項目に分類し環境目標（案）を策定しました。具体的な行動として、エコオフィス活動のチェックリストを事業所レベル、個人レベルで実施しました。

やれば簡単なことでも、実行できていないことが多いので、簡単な「できること」から実行していくことが大事です。

産業部会のなかには、ISO14001を取得した企業、取得準備中の企業があります。これらの企業から、ISO14001を取得する意義、企業内及び従業員の環境保全に対する意識の高まりの変化等をお聞きして、今後勉強していきたいと考えます。

（ミクニペイント(株) 広瀬勝博）

## とよなかエコオフィス21活動 チェックリスト

事業所名 ( )		住所	
大項目	番号	大項目	番号
廃棄物減量	16	省エネルギー	1
	17		2
	18		3
リサイクル	19	環境に配慮した	4
	20		5
	21		6
地球環境	22	運輸・交通	7
	23		8
環境に配慮した	24	事務機・事務用品 (グリーン購入等)	9
	25		10
事業活動	26	省資源	11
	27		12
社内環境教育	28	企業参加	13
	29		14
企業参加	30		15
	31		

上記以外の取組行動があれば、右の欄に記入して、得点を10点として下さい。

合計得点 = 3の個数 ( ) × 3 + 2の個数 ( ) × 2 + 1の個数 ( ) × 1

## 交通部会（エコトラフィック部会）

交通部会では、「ストップ・アイドリング運動」に取り組んでいます。「アイドリングストップ」を呼びかけ、「豊中アジェンダ21」のキャンペーンをきっかけに、1人でも多く環境にやさしい車の使い方を意識していただけるようになれば、「アイドリングストップ運動」の目的も果たせるのではないかと考えています。

一人ひとりでは小さくても、40万市民が一緒になって取り組んでいくと、大変大きな効果があると思います。

環境にやさしい交通を考えると、まず車に乗らない。徒歩、自転車、公共交通機関を利用する。どうしても乗らなければならない場合には、環境にやさしい車、いわゆる低公害車に乗る。急発進や急ブレーキを避け環境にやさしい運転をするということです。

部会の中で、「豊中市内で天然ガスの充填所をつくっていただきたい」という、発言がありました。豊中市では学校給食を実施していますが給食の運搬に天然ガス車を使ったらどうかということです。天然ガス車には、国の色々な助成措置があり、設置関係者の協力も得やすい状況にあります。市民が利用できる充填所があればありがたいと考えます。

（菱江運輸(株) 上田豊年）

## 98.7.15(水) 豊中新聞 (朝刊)



## 「空ぶかし」やめよう

### 豊中の市民団体 街頭キャンペーン

豊中市民や市内の事業者らでつくる「とよなか市民環境会議」は十四日、駐車中のエンジンの空ぶかしをやめるように呼びかける「ストップ・アイドリング運動」の街頭キャンペーンを行った。写真は、午前十時半から、北大阪急行千里中央駅前、阪急豊中駅前、ダイエー豊中店前の三カ所で行われた。

同会議のメンバーら計四十七人が、駐車中のドライバーや通行人に、啓発用のステッカーとチラシ、ティッシュペーパーを配布。運動への協力を呼びかけた。同会議は市民、事業者、行政が協力して地域から地球環境を守っていくと平成八年に発足。

「交通」「産業」「生活」「自然」の四専門部会で、二十一世紀に向けた「豊中アジェンダ21(地球環境を守る)とよなか市民行動計画」の策定作業などをしている。



とよなか市民環境会議

## 自然部会（ピオトープ部会）

最近、ダイオキシン問題、環境ホルモンなど、いろいろ消えつつある生物の中に将来、人間も取り込まれていくのではないかと、不安になります。子や孫の時代へ引き継ぐこの豊中の自然を大切にいきたいと思います。

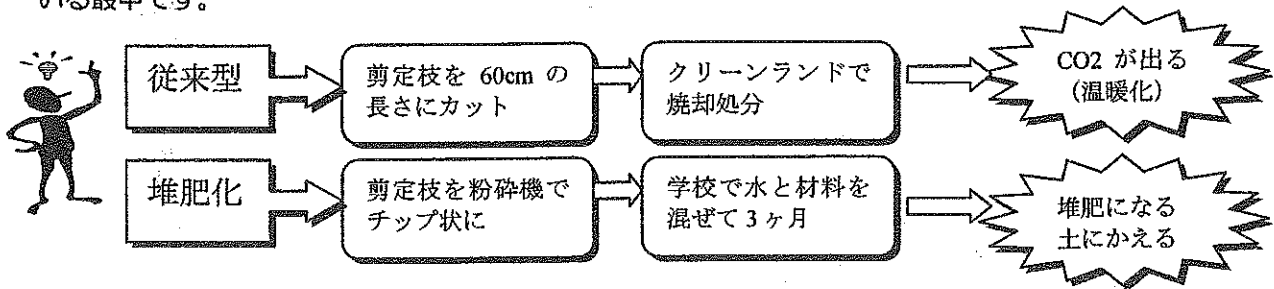
自然部会では、自然に関係する市内の団体と協力し、自然観察会や市内ウォーキングを行い、自然を知ることから始めました。環境保全の学習や環境マップをつくりながら、自然環境を守るための方策を考え、行動しています。

さらに、身近なところに生き物が棲める生息場所をつくるため、公園や幼稚園、小・中学校、個人の庭でのピオトープづくりも計画している最中です。



### 市内小中学校で剪定枝リサイクル事業開始！

9月3日に堆肥化について講習会を実施、モデル校10校の関係者が参加しました。堆肥の原料は校内の樹木の枝。約3ヶ月で完成し、来春には校内の草花や樹木の根っこで大活躍するでしょう。



## 豊中アジェンダ21 ～私の提案（要旨）～ 以下、敬称略

### 1. 自然に関する提案

#### アクアユートピアについて

○平井勝男（豊中青年会議所理事長）  
環境を守っていくのは本来、子どもたちではないかと考えます。  
アクアユートピア事業は、表向きには河川の美化運動、そして開放、自治意識の高揚等のお題目はありますが、「入口は遊び、出口は環境」というスタンスをもって、「環境」をテーマに大いに遊んでいきたいと思っています。

#### ガールスカウトでの取組について

○原本恵子（ガールスカウト豊中地区協議会）  
大阪ガールスカウトでは、「ふれあい実行委員会」をつくり、毎年「みどり」をテーマに身近な環境問題について調査・研究し、環境を守るため、活動しています。高校生、中学生を中心とするこの活動は、今後も、地域の人とかかわっていく形で続けていきたいと思っています。

#### 生ゴミの堆肥化と花・緑づくり

○小林俊子（豊中駅前まちづくり協議会）  
「ゆっくり歩きまわれるまち」を目標にして、近くにある空き地を貸していただき、そこをお花畑にし、つくったお花を商店街などへ持っていき、そこを飾る。生ゴミのリサイクルと通りの花づくりという両方かねて、市民の方が自分の問題として取り組めることを目標にがんばっていきたいと思います。

#### 剪定枝リサイクルとピオトープ

○稲葉憲造（豊中造園業組合組合長）  
都市化が急速に進む中、緑のリサイクルが全く進んでいないのが現状です。  
剪定枝を焼却するという安易な方法で処分せず、自然に返す、すなわち土に返すというリサイクルをして、地域社会に還元させる。剪定堆肥は、植栽工事、駅前花壇、学校菜園に利用するなど、需要と供給が一致するところに、資源のリサイクルが定着するのではないのでしょうか。

## 2. 産業に関する提案

### 建設業からみた今後の課題

○岸岡正美（豊中建設業協会会長）

日本の全産業廃棄物のうち、建設関連が20%を占めています。現在、経済の発展とともに建物の大型化、設備の複雑化、デザイン等も要求され、法的な規制も加わり、むだな資材の使用が廃棄物を増大させる大きな要因になっています。

建物の企画・設計の段階からむだを出さないための工夫をされた計画を立てることが大切だと思います。

### 産業への提案に対するコメント

○佐川直史（産業部会アドバイザー）

地球環境問題が言われたして、1992年地球サミットが開かれ、大事なことが決まりました。それは、企業が自主的に環境に配慮していくための行動基準をつくろうということです。そして、ISO14001という規格ができ、規格どおり今後、企業が環境に配慮したことをやっぴこうということになったわけです。

社長名の入った「環境方針」という宣言文の中に、法規準を今後遵守するということが入ります。企業自らがやっていくのです。

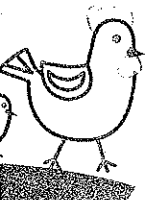
同じことが、市民にも及んできて、「ライフスタイルの変革をしようよ、自らが」というところにつながっていくわけです。従来の「規制」から「自主的な行動」でやっぴこうということです。ただ、企業の場合は組織ですから1つの基準がいります。それが、ISO14001です。

### 子育てと身近な自然

○富野香宝里（市民環境会議・自然部会）

子どもは本来、自然が大好きというより、存在そのものが自然の一部だと思います。けれど、確かに虫や小さな生物を怖がる子どもが多いのは事実です。今残された身近な自然や公園に、子どもが自然の一部に戻れる場を少しでも多く残し、作る作業ができれば幸せです。

同じ思いの人や団体が手をつなぎ、小さな行動を広げていけば素敵だと思います。



### ISO 14001 を取得して

○木下善博（クリタ化工㈱代表取締役）

既にヨーロッパでは、ISO 14001 シリーズの認証が入札の際に一つのメリットにつながっており、日本も近い将来ISO 14001 シリーズが企業の一つのベースになるだろうと考えています。これから認証を取得しようと考えておられる方には、決して無理をしないということです。背伸びをした計画をたてず、実際に今やっていること、それを文書化してスタートする。そうでないと絶対失敗します。

### 豊中市の取り組み（環境基本計画とエコオフィス）

○中島一憲（豊中市生活環境部次長）

豊中市は環境基本計画を作成し、新たな環境行政への出発をしたいと考えています。「施策体系」をつくり、平成11年度から、計画的に、施策を推進する予定を持っています。公共施設を建設する際には、雨水の地下浸透や循環を確保する方針を立てています。また、市内最大の事業所である市役所はエコオフィスとして、紙の使用量、ゴミの排出量、電力の使用量を減らす等の方針について定めています。

### 自然への提案に対するコメント

○盛岡通（市民環境会議コーディネーター）

皆さん方の活動は、楽しみながらスタートしてやっているところが多く、賞をもらったり、10年以上蓄積があるということですが、当環境会議の中の自然部会とこれまでの活動をどこかでつないでいただく場を追求してもらえたらありがたいですね。

例えば同じ千里川をやっておられる青年会議所と連携してみる、自然は縫い目が無いわけです。

最近はガーデニング・ブームですが、その裏に、「生き物が生きづらい環境になっているのは、人間さまがドーンと座っているからだ」という意識を持てたらいいな、という感じがします。毛虫も自然界の中の愛らしい生き物である、というように思えたらいいと思います。

### 3. 交通に関する提案

#### アイドリング・ストップについて

○田中 保（阪急バス豊中営業所所長）

阪急バスはアイドリングストップの問題に数年前から取り組んでいます。

しかし、暑い時は冷房が効かない、冬は暖房が効かない。これによってお客様からの苦情が非常に多いのです。市民の方、バスをご利用いただくお客様にご理解をいただき、アイドリングストップにご協力を賜れば幸いです。私どももバスがエンジンを停止できる状況を努力しますのでご協力よろしくお願い致します。

#### 大阪府条例でのアイドリング規制

○高見勝重（大阪府交通公害課）

大阪府条例によるアイドリング規制とは、運転者は、駐車時にアイドリングを停止する。事業者の方には、従業員などが駐車をしてアイドリングをしないよう指導していただく。駐車場の管理者には、運転者に対して駐車中はエンジンを停止するよう指導なり周知をしていただく、ということです。

何気なくやっているアイドリングの影響を考え、そのストップを実践していただくようお願い致します。



#### 新たなライフスタイル

○荒井英一（市民環境会議）

私は、生活部会で環境家計簿を作りました。ライフスタイルを変えるのは、温暖化防止のためだけではなく、子どもたちのために持続的社會をつくっていくためです。賢い消費者にならねばなりません。物質主義から精神主義に生き方を求めた生活も大切にしたいと思ひます。限りある資源を使いきったり、ゴミで汚れた地球を残さないために、この家計簿を使ってください。

#### 生活に関する提案に対するコメント

○弘本由香里（生活部会アドバイザー）

生活部会の皆さんは環境家計簿づくりに、ものすごい情熱を傾けてこられました。各自の生活体験や、いろいろ矛盾を感じてこられた思いや、どのように次の世代へつないでいこうかといった思いを込めて作られている。それが1つの絵のあり方や書き方全てから伝わってくる。

私たちは、いろいろな情報を得れば得るほど、その土地や暮らしや環境とのあり方に対する理解が深まり、自分たちの行動を考えるきっかけにもなります。ここから得られる情報量というのは本当に信頼できるものです。

私たちが暮らしていく文化と環境との関わり方、その文化をどのように伝えていくか、良い環境づくりをしていくための暮らしのあり方を人から人へどう継承していくかということ、そのための知恵を紡いでいく作業としてコミュニケーションがあるのだと思ひます。

#### 交通に関する提案に対するコメント

○新田保次（交通部会アドバイザー）

交通部会の今年の目玉は「ストップ・アイドリング」です。車を持っている方は必ずステッカーを貼っていただく。できるだけ目立って、堂々と張ってブームを巻き起こしていただきたいと思ひます。

交通の取組というのは、事業所レベルでは結構やられるようになってきたものの、市民の方の取組が少ないのです。

「アイドリングストップ」は最初の段階です。次の段階には車の利用を減らす、自転車やバスなど、他の交通手段に替える等の積極的な取組も必要かなと思ひます。

低公害車を導入しようとしても、まだまだサポートシステムがない。自転車に乗ろうとしても、歩道も少ないし、自転車道もなく、危なくてしょうがないということで、まちづくりへと広がっていく目が見えます。まさに市民・事業者・行政のパートナーシップという視点に、交通部会の運動も広がっていくことを期待しています。

### 4. 生活に関する提案

#### エコキャラバンに取り組んで

○山本将（大阪大学環境マネジメント会議）

環境問題の学習会を出前する、エコキャラバン隊に取り組んでいます。環境問題は、日頃はイメージしていない。つい便利で楽な方向にいつてしまいがちです。その中で、ちょっと立ち止まって、人を集めて、「こういう問題が起こっている」地球のこと、世界のこと、未来のことを話し合い、自分たちがどういことをできるか議論し、1つひとつ「こうしていきましょう」と方向性をつくっていくことが大事だと思ひます。

## ★提案全体に対するコメント（盛岡先生）

皆さんがわかりやすい取組み目標として、シンボリックなものが豊中のキャンペーン活動である。生活部会は環境家計簿やマイバッグ運動、自然部会も自然の回復という小さいけれど大事なピオトープづくりをしている。産業部会は企業活動も幅広いがエコオフィスチェックを、交通部会も公共交通よりもできることとして、ストップ・アイドリングから始めている。

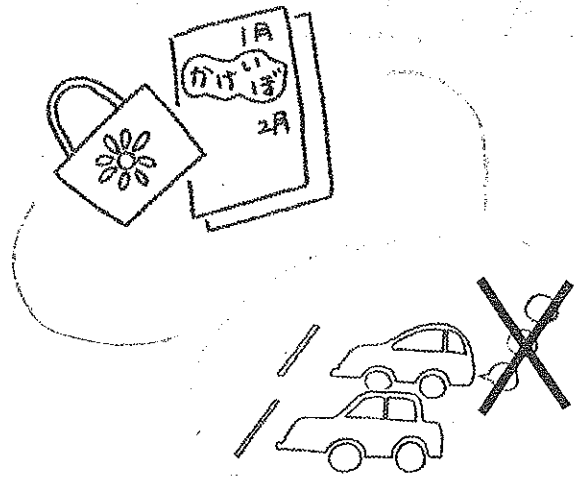
こうした象徴的な活動をこれからは着実に広げていく必要がある。ストップ・アイドリングも環境家計簿も、実践している人の数は分からないが、今日は私たちの取組むべきことを定めたことが3年目の最初の成果である。

2番目に、実行する過程で工夫がいる個所をメモしていく必要がある。例えば、商店街で天然ガス車を利用促進するには、補助金システムや充電所など問題がでる。「行政に頼みますわ」ならいいが、取組むとなれば知恵がいる。そうした問題点は1年の間にいろいろだが、できることからやろうというのが2番目である。

3番目は、「こんな生活の工夫をしています」という暮らしの達人はたくさんいるが、環境に関する取組みには個人個人で温度差があり、それを高い方に揃える工夫をしてはどうか。そのために知恵の交流、交わりの場を作っていただきたい。市民環境会議のホームページにアクセスしたら、いろいろなところにつながっていて、豊中にいて世界の情報が手に入る。今の情報化時代にそういう窓口を市民環境会議が作ると非常に役立つことになる。

それから場作りと同時に人が育つこと、できることなら環境カウンセラーを多く輩出してほしい。前に座っている私たちでなく、皆さん自身がカウンセラー、アドバイザーとして名のついていけるクラブを作り、入会資格は「私はストップ・アイドリングを実行しています」ということだけでいい。

4番目に、3年経つと持続可能な活動に目を向けていただきたい。今は行政支援を全面的に受けて活動をしているが、市民環境会議として独立するときが必ずくると思う。その方法は、環境問題だけでなく福祉やまちづくりなどの市民活動全体の知恵を入れて、NPO活動で持続させることをお考えいただきたい。私が今年立ちあげた子どもの環境活動を支援する協会では、会費制で会員がお金を払って活動している。行政に依存しない事業者・市民の自主的な活動から組織を作ること、構想5年、3年目ぐらいで並行して具体的な準備をし、7・8年目で実現する長丁場だと思う。これからは行政がお金を出すことはなかなか難しいだろうから、今後そうした工夫も残り5%ぐらいは考えていただきたい。中心は私たちの提案を実行しようということに力点を置いていただきたい。



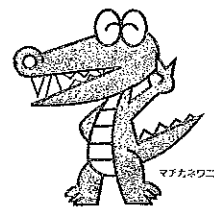
## 1998年度ワーキング会議経過報告

ワーキンググループ会議は、温暖化、酸性雨、オゾン層の破壊などが地球規模の問題であるという現状の中で豊中市や市民もこれらの問題を自分のこととして考えようと、豊中市の呼びかけにこたえて集まったメンバーです。昨年4月17日を第1回に、今まで延べ14回開催してきました。アジェンダ策定など、会の趣旨についての共通理解を図り、三宅昇さんを講師に招き「地球環境問題概論」について学習会もしました。「豊中アジェンダ21」の具体的な策定に向けて、生活・産業・交通・自然の4つの作業部会を設定して作業をすすめています。

ここ2カ月余りはこの具体的な「アジェンダ21」の条文づくりをおこなっています。

行政が作成する政策としての行動計画とはひと味違った、市民や企業人としての立場から、現在の環境問題の中でのふさわしい生き方として、何をしなければいけないか、何ができるかを、具体的に文章化する作業をしています。私たち一人一人にとっては“省エネに努める”とか“緑化に努める”“ものを大切に使う”“使い捨てでなくリサイクルの工夫・努力をする”“無駄を無くする”といったことが水質や大気を汚染しないことになり、結局はこの大きな問題解決への貢献につながります。これらの内容を日常生活の中で見るとどんなところで、どのような工夫をすることになるのかを考え、それをみんなが理解し共感し実行しあえるような内容のものとして、文章化しようとしています。

12月の環境展には一応の「案」を作成して広く、市民のみなさんに提示し検討をお願いしたく思っているところです。ワーキンググループ会議はこれら4部会の連絡・調整などをおこなっているところです。（とよなか市民環境会議WG 河野猪太夫）



## 第7回環境自治体会議「古河会議」 に参加して（参加者の感想より）

<新開さん>

会議は熱気に包まれていた。長時間の議論も短く感じられるほどであった。

自治体関係者だけでなく、多くの NGO や市民が参加し情報交換し、さまざまな環境問題に対して、多岐にわたる取組が多方面でなされていることが分かった。

私も市民の側から、生活部会で取り組んでいる環境家計簿の作成等を紹介し、会議終了後数人の方より問い合わせがあり、部会のメンバーにも是非知らせなくてはと思ったものである。

今、新たな地球規模での問題がおこり、地域からの取り組みが「まったなし」でせまられている。ありふれてはいるが、市民として、出来るところから、出来るだけ多くの人達と一緒に活動していくこと、との結論しか今はない。ただ、その切り口の多様さをこの会議のヒントにできればと考えている。

<山本さん>

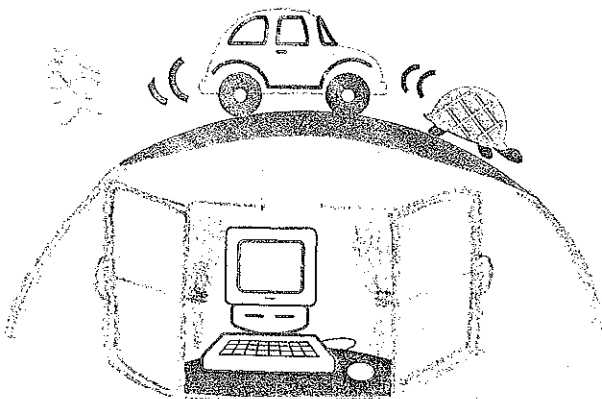
環境 NGO の参加が多く、自治体の政策を協議する場としては、先鋭的なものだったと思われる。

会議の中の発言で、「都市環境政策のメニューは出尽くしており、政策を支持する多数派をつくれるよう合意形成をすすめることが、現在の課題である。この会議に参加した人が他人を説得し、その行動を変えられるようにすることが重要である。」という主張が印象的に残っている。

<上田さん>

廃棄物の適正処理について、すでに取り組みつつある事例が報告されましたが、日本の国全体ではどうなのか、大きな力、英知が欲しいと思いました。

とよなか市民環境会議のワーキンググループで活動し、古河会議に参加して、さまざまな人と出会うことができました。環境について活動している人は皆、真面目で、苦しんでいる人に力を貸し、困難に立ち向かうことを厭わない、素晴らしい人達だと思いました。私もできることは、可能な限り行動していかなければならないという思いを深くしました。



## 市民環境会議からのお知らせ

### 猪名川の水鳥観察会

- 日時 平成10年11月7日(土) 14時~16時
- 集合場所 利倉橋(市民環境会議の旗があります)
- \*小学3年生以下は保護者同伴で参加してください

### 11月はマイバックキャンペーン月間

- アンケート期間 平成10年11月13日(金)~15日(日)
- アンケート協力店 イヰヰ庄内店、ダイエー曾根店、大阪北生協桜塚、ジャコ豊中店、大丸ビコック千里中央店、関西スーパー北緑丘店、千里阪急
- \*上記のとおり、協力店で市民環境会議のメンバーがアンケートを実施しますのでご協力ください

### 環境展'98

- テーマ 「生まれるいのちが私たちの未来です」
- 日時 平成10年12月12日(土)、13日(日) 10:00~16:30
- 会場 市民会館大集会室、会議室 ほか
- 内容 パネル展示  
リサイクル&リニューアルファッションショー  
もったいない市  
リサイクル抽選会 ほか

### 豊中アジェンダ21シンポジウム

- 日時 平成10年12月12日(土) 14:00~16:30
- 会場 中央公民館大集会室
- 内容 条文案発表など(未定)

### 編集室から

平成8年に発足した「とよなか市民環境会議」も、3年目を向かえ、豊中アジェンダ21(地球環境を守るための豊中市民行動計画)の策定にむけて様々な活動を展開しています。

今回は、こうした取り組みをできるだけたくさんお知らせしようとしたので、盛り沢山の内容になってしまいました。なかでも「ストップ・アイトリング」や「環境家計簿」などのキャンペーン活動は新聞にも取り上げられ、ご存知の方々も多いと思います。

現在、ワーキンググループを中心に豊中アジェンダ21の文章化をおこなっていますが、Think Globally, Act locally. (地球規模で考え、足元から行動をおこせ)の通り、きっとその内容は私たちに新たな指針を与えてくれるでしょう。

ニュースレター編集担当: 高野、大村  
特別協力: 佐藤 徹

発行 : とよなか市民環境会議  
事務局 : 豊中市生活環境部環境課内  
編集責任 : 豊中市生活環境部環境課長  
〒560-8501 大阪府豊中市中桜塚3-1-1  
TEL : 06(858)2106 FAX : 06(842)2802

★とよなか市民環境会議は、市民・企業・行政のパートナーシップ組織です。